

事業実施計画書

事業名	ママさんの居場所づくりイベント事業	事業費	△△△円
解決したい 地域課題	(解決したい地域課題を具体的にご記載ください) 地域のつながりの希薄化等により、孤独な状態で妊娠・出産・子育てをされているママさんが増加している。昔のように、子どもを地域全体で見守り育てるという感覚も希薄化している。		
事業の目的・ 事業の最終目標	(何のために当事業に取り組むのか、何をを目指すのか具体的にご記載ください) 孤独な状態で妊娠・出産・子育てをされているママさんの居場所づくりをすることで、子育ての悩みなどを気軽に相談できる環境づくりを行う。 最終的には、マルシェやセミナー等で事業収入を得て事業を継続しながら、子育て世代の方をはじめ、それを支える幅広い年代の地域住民がイベント等に主体的に参画し、地域全体で子どもを育めるあたたかい地域にすることが目標である。		
事業の内容	実施エリア ----- ○○市や○○市で実施予定。		
	実施内容 ----- (課題の解決方法を具体的にご記載ください) 子育て中の女性をターゲットに気軽に集まれるワークショップイベントを開催し、孤独を抱える子育て中の女性の悩みを打ち明けたり、子育てに関する情報の共有を目的としたネットワークづくりができる空間を作る。また、配偶者や孫を育てる高齢者世代を対象にしたセミナーを開催し、子育ての当事者や理解者を育てる。 チラシ配布等により、一緒に事業を行ってくれる仲間を見つけメンバーで意見交換を重ねながら、イベントを計画する。イベント開催前には、他地域で活動実績のある○○さんを講師に迎えイベント成功のノウハウを学ぶセミナーを開催し、イベントを実行する。 打ち合わせ・セミナーは○○市の○○地域公民館、イベントは○○小学校跡地で開催予定。		
	当事業の特徴・既存事業との違い ----- 当事業の特徴はママさんの居場所を作るだけでなく、配偶者の男性や高齢者もターゲットにすることである。例えば、妻が妊娠中・出産直後の男性に向けた子育てセミナーや、孫世代を育てる高齢者に向けた、現代の子育てを知ってもらうセミナーを開催する予定である。		

事業を行う上での課題・困難		該当する課題に☑を入れてください。（複数回答可） ☑ 協力してくれる仲間がいない ☑ 地域活動を行う知識がない ☑ 資金がない □ 事業計画の立て方が分からない □ 相談先がわからない □ その他 []
事業の実施スケジュール		（事業の実施スケジュールを具体的に記載すること） 8月中旬～ チラシを作成し、当事業に参加してくれる女性を募集する。 9月中旬～ 事業開始に向け、参加者とイベント事業内容を検討。（地域活動推進塾①） 10月上旬～ 事業実施に向けた課題抽出と実施に向けたセミナーを行う。（地域活動推進塾②） 11月中旬～ イベントの進捗情報共有（地域活動推進塾③） 12月上旬～ イベントの広報 2月上旬 イベント本番（地域活動推進塾④）
想定する新規構成員（女性）・ターゲット層		（どのような新規構成員を想定しているか記載すること） ・孤独を抱える子育て中の女性 ・子育てを終えた、子育て経験豊富な女性 ・イベント開催に興味のある女性 【女性の新規構成員に関する数値目標：6名】
新規構成員（女性）の獲得手法及び育成手法		（どのような方法で新規構成員を獲得し、主体的に行動するよう導くのか記載すること） ・SNS の活用やチラシの配布等で新規構成員を募集する。 ・一緒にイベント事業を作り上げ、各構成員に役割分担を行う。 ・イベント開催に詳しい方を講師に迎え、主催者側の動きや心構えを学ぶ。 ・イベント開催を通じた成功体験等を継続的かつ主体的な活動につなげる。
（開催予定日も記載ください） 地域活動推進塾の内容	第1回	【開催予定日…9月中旬】（イベント・セミナーの内容を決定する） ① 事業の計画（開催場所や開催規模・日程）・最終目標等の共有 ② 課題、今後の取組の整理 ③ イベント・セミナー事業の計画策定
	第2回	【開催予定日…10月上旬】（イベント・セミナー開始に向けたセミナー） ① 同地域でイベントを開催している経験豊富な〇〇さんを講師に迎え、イベント開催に向けたセミナー開催 ② イベント・セミナーに向けた課題を話し合う。 ③ メンバーの役割分担決定

	第3回	【開催予定日…11月中旬】（イベントの詳細決定） ① 自身の担当役割の進捗状況や前回話し合った各々の課題について、現状を共有 ② 広報を計画		
	第4回 （第5回 以上開催 する場合 は適宜追 加）	【開催予定日…2月上旬】（イベント・セミナー前日・本番） ① イベント・セミナーの前日準備 ② イベント・セミナー本番 ③ 反省会及び成果報告会での発表内容の検討		
令和8年度以降 の活動計画		来年度は他補助金の模索や、場合によってはNPO法人を設立し、イベントの有料化や不要になった子ども服・おもちゃのフリーマーケットを開催することで収入を得て、事業を継続していく。 他団体とコラボしたイベントを計画し、さらに認知度を向上させる。 最終的には今回得たネットワークをもとにさらに事業を拡大し、事業に携わってくださる地域の方を増やすことで、地域全体で子育てをする風土を育てる。		
令和8年度以降 の数値目標	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	事業メンバー数 8名	事業メンバー数 10名	事業メンバー数 12名	

※1 事業内容が確認できる資料（既存の事業計画、写真、図面等）があれば添付してください。

※2 各記入欄の幅は適宜、変更してください。